

# 大会競技規定

## JFA 8人制サッカー競技規則

### ルールの基本的な考え方

- ①審判1人制を採用することにより、選手のフェアプレー精神を養う。
- ②審判を信頼し、判定に対して不平不満を表さない。
- ③審判員の決定にしたがいつつ、ラインアウトについてはプレーヤーから申告するフェアな姿勢を養う

### 審判の試合運営上の留意点(共通理解)

- ①1人制であることから、よく動き、よい位置取りを心がけて説得力のある判定を目指す
- ②オフサイドの判定については、主審の見解で明確な場合のみを罰し、原則的に「疑わしきは罰せず」の考えをとる
- ③スローインについては、ファールスローなどの違反を探すのではなく、明らかな場合のみを、罰し、指導も行なう
- ④フェアプレーの精神、良いマナーを養う目的から判定に対してや他の人に対する言動にも注意を払い、指導をしていく

ルールについて : 8人制の主旨を徹底させるためにのみ必要な変更を行なう

- |          |          |   |
|----------|----------|---|
| 第1条      | 競技のフィールド | 全日本少年サッカー大会に準じる。ただし、フィールドの大きさは通常のフィールドの半分の大きさを推奨する<br>(今大会は→ 60m × 40m 予定)  |
| 第2条      | ボール      | 少年用の4号ボール   |
| 第3条      | 競技者の人数   | ①8人(内1人は、ゴールキーパー)とする<br>②交代要員の数は競技会規則で定める。(今大会は何人でも可とする。)<br>③交代は「自由な交代」とする   |
| 第4条      | 競技者の用具   | 変更なし  |
| 第5条      | 主審       | 主審1人制(主審はグリーンカードを示すことができる)  |
| 第6条      | 副審       | 副審を配置しない  |
| 第7条      | 試合時間     | 15分ハーフとする。  |
| 第8条～第11条 | 変更なし     |   |
| 第12条     | 反則と不正行為  | 【ベンチ役員の退席】<br>・ベンチ役員のコーチングは監督のみ可とする<br>・ベンチにいる役員(監督、コーチ、スタッフ等)が、判定に対して意義を唱えたり、選手に対して罵声等のネガティブなコーチングを行い、主審から1度注意を受けた後、再度何らかの役員が同様な行為をした場合は、主審の判断により、その役員を退席処分とし、それ以降のベンチからのコーチングは不可とする |

- |           |         |                             |
|-----------|---------|-----------------------------|
| 第13条      | フリーキック  | 相手競技者は7m以上ボールからはなれる         |
| 第14条～第16条 | 変更なし    |                             |
| 第17条      | コーナーキック | ボールがインプレーになるまで相手競技者は7m以上離れる |
- <グリーンカード制度について>  
グリーンカード制度を導入する。積極的に運用する。

### 以下 ローカルルール

1. リーグ戦に関しては、同点の場合もPK戦は行なわない。
2. レッドカードを出された選手は即座に退場とする。しかし育成大会の観点から、次の試合には出場できる。
3. イエローカードは2枚で即座に退場。しかし大会期間中累積はしない。試合ごとに注意を与える。 ※レッド、イエローは 子供達にやってはいけないプレーを教えてあげてくださいあくまでプレー機会を奪うためのカード提示としない。
4. 選手登録は1試合何人でも可。交代人数自由。試合開始5分前には各コートサイドにて準備をし、待機すること。(選手登録用紙等の提出は必要ございません。)
5. 対戦表記載の試合開始時間を経過しても選手の数が4人の場合(5人はOK)そのチームの不戦敗とする。不戦敗の勝ち点は、3。スコアは(5-0)とする。

